

信州大学医学部附属病院 臨床検査部で実施される
多機関共同研究についてお知らせいたします。

2024 年 10 月 15 日

「多次元データ統合による腸炎診断支援 AI の構築」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6307
研究課題名	多次元データ統合による腸炎診断支援 AI の構築
所属(診療科等)	臨床検査部
研究責任者(職名)	岩谷 舞(講師)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2029 年 7 月 31 日
研究の意義、目的	腸粘膜の組織所見や臨床情報を人工知能(AI)学習させ、腸炎診断エンジンを開発することで、診断の精度が向上する可能性があります。
対象となる方	2015 年 1 月 1 日～2024 年 7 月 31 日の期間に信州大学で下部内視鏡検査(大腸カメラ)を施行された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／組織など
他機関への試料・情報の提供方法	(記録媒体、郵送、電子的配信 等)により提供します
研究方法	信州大学において過去の診療記録より上記の内容を収集し、生検組織から得られたデータもあわせ、バーチャルスライド化した組織所見から AI に機械学習をさせます。データは匿名化され、個人が特定されない状態で、AI 構築の為に名古屋大学へ送付されます。AI システムのデータ検証を信州大学と浜松医科大学で行います。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	名古屋大学(責任者:森健策)、浜松医科大学(責任者:酒井康弘)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:岩谷舞
問い合わせ先	信州大学医学部附属病院 臨床検査部(電話:0263-37-2805)

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。